

平成29年度文部科学省補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」

和歌山大学 ダイバーシティ研修

性の多様性を認める 自由なキャンパスを めざして

2020年

2月14日(金)

10:00-12:00

@和歌山大学 西2号館 E-301

講師 / 田中 かず子 氏

(ファームント代表、元国際基督教大学教授)

事前予約不要
参加費無料
どなたでもご参加
いただけます

主催・お問い合わせ / 和歌山大学経済学部ソーシャル・インクルージョン研究ユニット

連携機関 /



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY



国立大学法人
和歌山大学



SEKISUI HOUSE

和歌山大学 ダイバーシティ研修

性の多様性を認める 自由なキャンパスを めざして

講師紹介



田中 かず子 氏 ファーメント代表、元国際基督教大学教授

国際基督教大学教養学部元教授。お茶の水女子大学を卒業後、1972年に渡米。1980年アイオワ大学大学院に進学し、1987年ジェンダー階層論で社会学博士号を取得。帰国後1989年国際基督教大学に社会学専任教員として着任。2004年ジェンダー研究センターの設立、2005年ジェンダー・セクシュアリティ研究プログラムの開設にかかわり、2014年国際基督教大学を定年退職するまで同センター長およびプログラムコーディネーターを兼務。現在、国際基督教大学ジェンダー研究センター顧問。

編著に『アジアから視るジェンダー』（風行社、2008年）、共著に*Gendering The Knowledge Economy-Comparative Perspectives*, (Palgrave Macmillan, 2007)、『ケア その思想と実践2 ケアすること』（岩波書店、2008年）、論文に「感情労働としての介護」（『現代のエスプリ』第519号、2010年）、「介護労働からみえること」（『女性労働研究』第54号、2010年）など

企画趣旨

ジェンダーやセクシュアリティに関する問題がSOGI(性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity))の問題としてインクルーシブに考えられるように社会が変化している。この間、日本学生支援機構においても「大学等における性的指向・性自認の多様な在り方の理解増進に向けて」が2018年5月にまとめられ、国公立大学においてもSOGIの多様性と学生生活に関わるガイドラインや宣言が出されている。

本学においても、学長のイニシアティブの下、2019年11月22日に「和歌山大学における人権に関する基本理念」及び「和歌山大学におけるSOGIの多様性に関する基本方針」が策定された。そこで、大学においてSOGIの問題に具体的にどのように取り組んでいくべきかをジェンダー研究の第一人者である田中かず子氏を招いて講演いただく。